



# ヤキソギくん

byモリタ



ウエスギ先輩、今年の夏の現世ツーリング、ツラかったっすね〜。



おう、ダテか

まったく。道中ず〜っとスタンディングポジションだもんなあ。



ケツ痛い!

耐えきれず、尻を下ろしたタカウジ先輩なんて、まだ出血が止まんないらしいぜ。

もう二度と子孫のところになぞ帰るものか!

原画では、この部分赤色



ママ、お盆に帰って来る。一先祖さまもこれに乗れば、節電できるね。

ツトムちゃん

このまらにひいて、我が国には神も仏も無くなってゆくのであった...

「緑のカーテン」とやらの流行に乗って育ててはみたが、苦くて結局食べないゴーヤの、この夏の代表的利用法

学習能力というやつをどこかに置き去りにしたんだらうか。今回も二日目の朝を二日酔いで迎えてしまつた。隣で大盛りの朝食をかきこむ人やあつちでブシュッとやる人をボート眺めながら快方へ向う事を祈つてはみたが、きつといつもの様に昼頃までダメだらう。本来なら爽快であらう絶景からの脱糞も最悪な気分だ。ああ10年先もこうしているんだらうか?

行方不明の組長のストレッツチコドは結局アベさんのアクセルに居たのを確認して旅の続きへ。ギャップの度にこみあげるものを感じながら万古隧道で小休止。残念ながら読みはMではなくB。下ネタが盛り上がり集団なので昨夜の話題にもあまり乗らなかつた。林道千遠線も後にしてJR飯田線を南へ並走。まさかの伊那小沢駅にて休憩。ナント駅内に水場があつた。さすが組長! 水分補給し、陽だまりでウトウトしてると珍しい事に電車が入つてきた。たいして珍しくも無いらしいタイプの車両に乗っていた乗り鉄らしき男女は、小汚いバイク集団が珍しきのか、好奇の眼差しを少しの遠慮も無くコチラへと向けていた。天龍村の林道は途中で崩落、土砂の脇を何とかすり抜けたと思つたらすぐにまた崩落。諦めて引き返した道場真ん中が小川になつて涼しい場所です。少し早めの昼食。

カバさん、涼風さん、蹴りセロさんに別れを告げて連泊組は舗装が進んだ豊富林道へ。このまま佐久間へ抜けヨシダさんと落ち合う予定だったがまたしても崩落。思い通りに進まず延々と引き返す途中、バックミラーには確かもう一台が写っている。曖昧な記憶の

まま一人引き返してみれば、やはり尾崎さんがパンク修理を始めていた。BSTアイヤのビードは固く、手持ちのレバーがはじき返されるが、地下さんの高級品を借りたら1発だつた。拾つた釘が犯人でした。完了間際「シュー」とエア漏れの口マネで子供みたいにはしゃぐ組員。ああ10年先もこうしているんだらうか?

さて大迂回で東栄のバブスーパ(?)にてポンゴ車のポンゴにバイクを積んだヨシダさんとやつの事で合流。諦めずに良かったです。一向に現れない某氏の留守電に宿地への行き方を残すのは困難だ。案内皆マジメに心配してました。ゴ三さんなんかは「さっきの某氏との会話は夢だったのかなあ」と。

下毛林道の奥の狭い広場にてテントを広げ宴会の始まり。組長製作の山田深夜氏直伝の空き缶ウーハーを地下さんのウーハーにセツトすると迫力の中島みゆき。話題は来なくなつた人、来られなくなつた人の事やら明日の通行量やら。組長は空き缶ウーハー氏宅へ招待されていて、湘南あたりの渋滞が気になるらしい。



最終日は食材を使い切る為大量の朝食を前にため息がちな組員。概ね天気には恵まれた三日間を思い巡らせながら、たつた二時間の帰路に就いた私、村松岡が報告致しました。ああ10年先もこうしていたいなあ。



去年の5月連休までは「組会」といえば、まだこんなバイク有つたの!? というSX200R(このバイクでバブルまっただ中の1988年に林道日本一周もした。)で参加してました。

組会で恵那まで高速で行つたときは、「途中でブチ壊れるのでないのか?」などと心配をしながら参加してました。実際、いわきの組会の時には、高速でエンジンブローして参加出来なかつたこともありました。(自分が参加しようとした組会の中で一番近い!) 高速では80kmキープ、100kmは瞬間的にしか出せません。そんな案配なので、高速対策及び自分のテクのなさをカバーすべく、今年の春にXT250Tをヤフオクにて4.5万円で購入。キャブのオーパーホールは何回やつたのかわからないぐらいいや、フロンプオークのオイル交換から、出来ることはすべてやって、昨年の白河の組会に参加しました。

しかし、「XT250Tも悪くはないけど、若いうちに(もう若くないと思う)もう少し大きなオフロードバイクに乗りたいたいな! 大型免許はあるし。」などと思つて、インターネットや雑誌を見ていたが、ゲロ道に行つたときには、XR650Rとかは足が地面に着かないという心配もあるし、いわゆるビックバイクは重くて無理! などと考えておりました。DRIZ400は一度バイク屋で見ましたが、これまた足が着きそうにない。自分の足の長さを憂いながら、いろいろと考へて、結局は400cc以下で、ポロで安いやつという結論に達しました。(貧乏、涙)でも、そんなバイクあるか? 探してみると、あるにはある。350ccという何と中途半端な力テゴリーが! でも、逆輸入車のため、タマ不足で断念。

よ! と思つていたのに、なんと350ccのエンジンが載つているDR250SHが格安で、部品取りとしても出ているではありませんか! しかも、書類なしというオチが付いていて、悩む。ところで出品地は? と確認すると隣町。ますます悩む。とりあえず一万円で入札。終了時間10分前に結論が出る。「乗るバイクはXTがあるの、あまり見かけないDRの350ccのエンジンとして落札しよう。そして長期戦で公道デビューしよう。」と。結局最後は5万円になつてしまつたが、落札。(この時点でXT250Tの値段を超えている。)翌日引き取りに行くと、なんと画像には載っていない付属品及び250ccのエンジン付。家に帰り、妻に見つからないようにこっそりと倉庫に収納。ここから又悩む。このバイクは別の書類有りのフレームに載せ変えて何とかしようと思いましたが、あまりにもお金がかかることが判明して断念。別のDR250を探すことにしました。

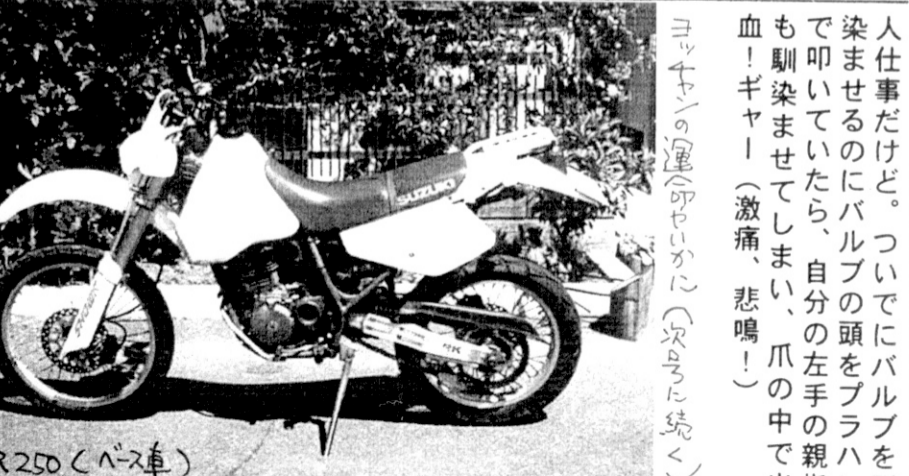
キ口ではこんなに減りません。」というくらい減つてはいる。(後に部品取り車から頂きました。)誰も家にいないときに、エンジンを掛けてみると掛かるじゃないですか。よかつた。で、試乗すると約500mぐらいい走るとエンジン再始動不能になる。何度キャブのオーパーホールをしても結果は同じ。このときにヤブオクの「私は一度も乗ってません!」の意味を理解した。「ダメだこりや!」と言うことで、250ccの乗り味もわからないままに350ccに変身! ついでに350ccエンジンに腰上オーパーホールもしました。バルブも摺り合わせました。素

でも気に掛かる一文が書いてある。「私は仕事が忙しくて一度も乗っていません。エンジンは掛かります。整備出来る人に限る。」と。「エンジン掛かってもいっかよ!」と思いましたが、一応大体のことは出来るので、気にせず落札し、運送便で送ってもらおう。家に着き、もう倉庫はすでにGSXR1100、XT250T、部品取りDR250SHが鎮座しており、入る余地がないので前に買った部品取りDRを外に出し、またこっそりとDR250を外に出納します。ふと前後のブレーキのディスクを見ると「とても8000キ口ではこんなに減りません。」というくらい減つてはいる。(後に部品取り車から頂きました。)誰も家にいないときに、エンジンを掛けてみると掛かるじゃないですか。よかつた。で、試乗すると約500mぐらいい走るとエンジン再始動不能になる。何度キャブのオーパーホールをしても結果は同じ。このときにヤブオクの「私は一度も乗ってません!」の意味を理解した。「ダメだこりや!」と言うことで、250ccの乗り味もわからないままに350ccに変身! ついでに350ccエンジンに腰上オーパーホールもしました。バルブも摺り合わせました。素

人仕事だけだ。ついでにバルブを馴染ませるのにバルブの頭をプラハンで叩いていたら、自分の左手の親指も馴染ませてしまい、爪の中で出血! ギャー(激痛、悲鳴!)

ヨシダの運命の叫びに(次号に続く)

編集後記  
地下のほら式後でまじ溶けなまじう...  
ヨシダの運命の叫びに(次号に続く)



DR250(ベース車)